

## 令和3年度 和合町自主防災隊総合防災訓練 活動報告

11月21日、和合町自主防災隊総合防災訓練を、自主防災隊員のみで実施いたしました。

想定：令和3年11月21日午前7時57分 地震発生

参加隊員：本部役員副部長以上、専門職、無線係、ポンプ隊、部隊長、組長、防災各班長  
：消防第8分団、中消防署富塚出張所、ボーイスカウト、浜松市中区振興課他

訓練内容：本部…災害対策本部の設置訓練。

情報部…地震発生のサイレンと同時にハンドマイクで災害発生を呼びかけると共に、災害状況の把握と本部への情報伝達の訓練。無線機の訓練。

消火部…消火器の取り扱い及び消火訓練。バケツリレーによる消火訓練

避難誘導部…一時避難場所、二次避難場所で避難者体調確認をチェックシートを用いて行い、避難者を安全に泉小学校グラウンドまで誘導し、人数、けが人、体調不良者の報告の訓練

救護部…救護所の設営。救出→応急搬送→AEDの連携訓練（AED指導は消防隊員）

物資部…対策本部設置後、非常用物資補給及び配給訓練

可搬ポンプ隊…救出→応急搬送→AEDの連携訓練（救護部、ボーイスカウトと連携）  
放水訓練（第8分団も参加）

避難所運営部…避難所モデルの設置訓練。部隊長、組長は、避難所の備蓄品及び防災設備の見学と、避難所運営の基本的知識の習得。災害時のトイレ使用研修。

ボーイスカウト…テント設営と生活体験（仮設トイレ）

救出→応急搬送→AEDの連携訓練（救護部、ポンプ隊と連携）

（令和3年度の訓練の様子は、和合町ホームページで、ご覧いただけるよう準備中です。）



## 編集後記

本年度の防災訓練も全町民が集まった訓練はせず、自主防災隊員の訓練とし、町民の皆様には、「お家で防災訓練」という形での個別の訓練をして頂きました。

組織として危機管理を行う上で、形式を重んじる訓練はとても大切なことです。自主防災隊では、災害を想定し、いざという時に組織がスムーズに動けるように今後も活動をしていきます。そして、町民の皆様には、より実践的なアプローチをすることで、災害を私事と考え、それぞれが防災意識を高めていただけるようにしてまいります。そして、自助、共助、公助がうまく連携し、災害に立ち向かえるような街を作っていければいいと思います。

筆耕：和合町自主防災隊 防災コーディネーター 松山 美佐